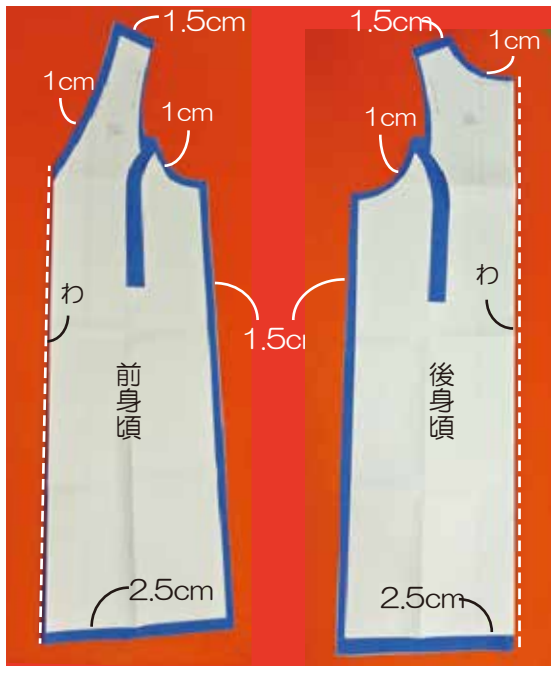
No.706

タック入りエプロンドレス

kamakura SWANY

作品見本

縫代の付け方（参考）



布を裁つ際は中表又は外表に二つ折りにし、
大きなパーツから型紙を置いていきます
型紙の矢印の方向に生地の『縦地』を合わせ
『わ』の印がある型紙は折山に合わせて置きます
左図の縫代の付け方を参考に裁断して下さい

※縫代はロック又は
ジグザグミシン等で始末する

① タックを縫う

①-1 タックの上部分（12cm位）
に切り込みを入れる

①-2 タックを中縫い
止まりまで縫う

①-3 縫代を内側に倒し
表からステッチをする

（前身頃も同様に縫う）

② 肩を縫う

前後身頃を中表に合わせ
肩を縫い、縫代を割る

表から見た出来上がり

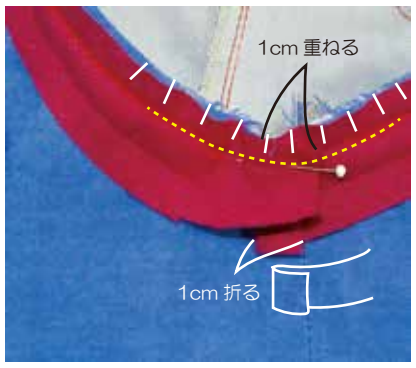
③ 衿ぐりの始末をする

③-1 3cm幅のバイアステープを
用意し、衿ぐりとテープを中表に
合わせ出来上がりまで縫う

③-2 バイアステープを
裏側に返しV字の重なりの
はみ出す部分をカットする

③-3 反対側のV字の重なり
は折り込む1cmを残し
カットする

③-4 V字の重なりを
折り込み、端を縫う



④ 脇を縫う

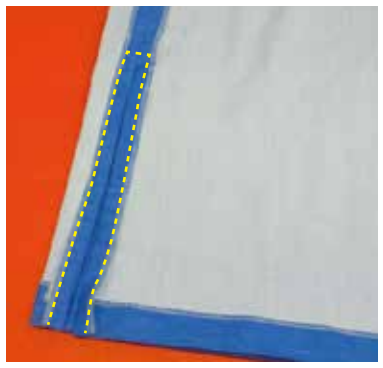
前後エプロンを中表に合わせ
脇をスリット明きまで縫い
縫代は割る

⑤ 袖ぐりの始末をする（両側）

⑤-1 3cm幅のバイアステープを
用意し、袖ぐりとテープを中表に
合わせ重なる3~4cmを残して縫う

⑤-2 バイアステープの上に
なる方を1cm折り反対側を
1cm重ね、縫い残した部分を縫う

⑤-3 カーブのきつい部分には
切込みを入れバイアステープを
裏側に返し端を縫う



⑥ 裾・スリットの始末をする

⑥-1 裾の縫代の始末をし、
出来上がりに折り、縫う

⑥-2 スリットを出来上がり
に折り、縫う